

N A E C (New Approaches to Economic Challenges
: 経済的課題に関する新たなアプローチ) について

平成 25 年 12 月 12 日
O E C D 代表部

1. 経緯

従前のやりかた方では、経済危機の回避や今次経済危機後の回復の低迷、失業の高止まりや格差の拡大、財政悪化といった各国や世界経済が抱える問題に対し十分対応することが困難という反省にたち、OECD の分析フレームワークや政策アドバイスを改善することを目指す OECD 部局横断的なプロジェクト。

2012 年の閣僚理事会において実施が決定。2 カ年プロジェクトを予定しており、本年の閣僚理事会において中間報告、来年の閣僚理事会において主要内容（統合レポート）が報告される予定（最終報告書は来年末を目途として取りまとめ予定）。

2. プロジェクトの概要

3 つの柱を中心に O E C D 各部局により 2 9 の研究プロジェクトが進行中。

A. 回顧と横断的スキャンニング

過去の経済危機からの教訓と新たな手法の検討

(例) 危機前後の経済見通しの外れ方およびその原因の検証

財政再建が成長と格差に及ぼす影響の分析

B. 政策のトレードオフと相互補完性

各政策目標の相互関係の検討 (well-being、環境と成長、格差と成長等)

(例) 経済指標以外の各種指標 (well-being) 同士の相互関係の分析

今後 50 年間の世界経済の構造変化と政策対応を計量分析

C. 制度と政府

政府への信頼感や様々な社会制度の安定性を確保するための課題を検討

(例) 政府への信頼感を高めるための課題を検討

規制、競争政策、グローバル経済下での課税など

(以上)